

Coffee Break



★スタンブテリングに

参加をしよう

神戸の初夏を彩る神戸まつりも今年で第13回。5月14・15両日神戸市全域で華やかに繰り広げられる。

「今年は例年以上に賑やかな祭りにしたい」と張り切るのは伊藤治行神戸市民局長。「神戸まつりは、見て楽しめ、同時に出来るだけ多勢の人が参加することが大切です。今年はスタンブテリングを企画しました。その新



伊藤 治行

企画とは、規定のTシャツを着て

メインフェスティバル会場付近に設けられた9カ所のポイントを回りシャツにスタンプを押してもらおうというもの。完走者には記念品が贈られる。楽しく会場を

★創立60周年を迎えた

洋菓子のゴンチャロフ

今年6月で創立60周年を迎え、3月から全国主要百貨店で「60周年ゴンチャロフフェスティバル」などのキャンペーンを実施中の株式会社ゴンチャロフ製菓取締役社長的光葉貞男さんは、「創立60周年という特別な意気込みというよりも、毎年



光葉 貞男

毎々が真剣勝負、そのよって、60周年という一くぎりを迎えることができた。今後も一

層の心をこめたお菓子づくりに努力したい」と語った。4月6日には須磨の海浜公園で社内慰安と健康増進のための楽しい運動大会を実施。5月には宮崎ヘデラックス社員旅行と、社内一丸となって今年を意義あるものにしたと意欲的だ。

★ドイツ日本週間に

デュッセルドルフで個展

5月16日～6月26日の間デュッセルドルフ、クリストミュージアムで日本のオリジナル芸術展が開かれる

神戸のアーティスト、嶋本

昭三さんの'50年代の作品を記録写真で紹介展示するほ



嶋本 昭三

での若手現代芸術家のメッカ、ヒ

ルデブランドで個展を開く予定。

展示内容は、嶋本さんの具体「穴」や未発表の現代芸術などで、6月19日から26日までの予定で、ドイツでの個展を前に、西宮のアートスペースで3月に催された「1950年代の嶋本昭三展」も好評を博し、ますます燃える嶋本さんの個展の成功を期待したい。

★ミセスの生活情報誌

「リビング神戸」誕生

主婦の生活情報誌、サンケイリビング阪神版のうちのほど神戸だけを中心にした「リビング神戸」としてデビュー、4月30日号の創刊号から、非常な好評をうけている。「リビング神戸」は大阪地区第7番目の情報誌で、編集長の永井美智子さんは、「近畿圏で特にファッショナブルな文化をもっている神戸を中心に

と熱っぽく語っている。テ

ーマは教育、健康など生活に密着した情報中心で、ニ

ューサーティの主婦に訴えていく方針。また、創刊号

から「本音の教育を」と題して、大学入試など家庭で最

も関心のある「子育て」文化も鋭く追求する一方、神

戸ワインやファッションなども盛りこんだ楽しい誌面

作りに情熱を傾けている。★関西ならではの伝統芸能

「地唄舞」普及に大活躍3月に大阪、京都、4月

には大阪で第の狩谷公子さんとのリサیتالと、今春

早々から大忙しの古澤侑峯さんだが、5月29日午後2

時から「第2回古澤流舞の会」を、宝塚パウホールで



古澤 侑峯

開く。この企画は、定例の大阪での会とは異なり、身体障害者のための初のチャリティー公演。古澤さんも「地元の福祉に少しも役立ちたいという願いがやっ」と実現し、また、地唄をじっくりと迫めてみるというよりも上方唄や箏曲などの

たいを

吾輩は呑んべえキンカジュー



みなさん、何とも可愛いこの大きな目の金色の動物は？　なんという動物だかご存知だろうか。

「まあ可愛い。抱かせて！」

散歩に連れだしたら、さあ大変、どっと学童たちが寄り集まってくる。だが、口々に呼びかけているものの、いったい何という動物なのか、正しい名を呼んでくれないのが、このおとなしい動物なのである。

「スローロリスや、ガラゴや、オマキザルや、いやネコにも、いや子グマみたいや、！」

「これ家で飼われへんやろか！」

いや、実はこの動物、日本では無名の動物。だが、アメリカではペットショップで大変人気のある動物。その愛称をハニーベア（HONEY BEAR）とさえつけて売っている。それはあくまでもニックネーム。本当の名は、和名キンカジュー。学名、黄色く酒飲みの動物という意味がつけられている。まだ学童たちにはピンとこない風である。

「アライグマ科の一員なんです」「あっそうか」と、み太陽舎で遊ぶキンカジュータチ



んなの顔がほころんだ。

「中央アメリカ、メキシコ、ブラジルに住む」

木登りがうまいというよりは深い原始林に住み、木の洞穴に寝ぐらを持つ夜行性。動物園でも日中は巣穴にもぐりこんで一向に姿を見せない。そこで照明装置を昼夜を反転させ、日中入園者の来られる時には夜の生活にさせ、動く所を見て頂く夜行性動物舎で飼育している。

かつてアライグマを寄贈したいと、外国船からの申入れがあつて、ブイ繋留の貨物船まで、通船（ランチ）で引取りに行ったところ、持主は外出中で「この部屋にいるから、どうぞ持ち帰ってくれ、また後日上陸して王子動物園まで面会に行かせてもらうから」との伝言が事務長からあつた。一等航海士とあつて立派な個室の中、それらしいオリもなく、どこを見回してもアライグマなど姿もない。一応通じる英会話のできる山本鎮郎園長が同伴だったので大助かり。手まねと会話で「そんなはずがない。この部屋にいる」と、言いきる。それならばと、限なく探すうち、ベッドの下にコロリとウンチのあること

を知った。『そうや、毛布の中にちがいない』やはり見つけた。ぬくぬくと毛布二枚の中にすっぽりもぐりこみ、それこそ深い眠りのさなか、さっと毛布をめくり姿をさらけだしても、まばゆい顔で、逃げようとしないうちに、私たちは一瞬びっくりした。仰々しくサル捕網やオリを持ち込んだものだから、少々照れくさくなった。

「これです！」騒ぎに集まってきた若い船員の方、まるでネコを抱くように長い尻尾を持ってさっと抱いて、私にさしだしてきた。

「ワインや蜂蜜を

ペロペロ」

「バナナ、ソーセイ
ジパン、ミルクに蜂
蜜を混ぜてやって下
さい」

「それから、ワイン
やビールをよく飲み
ますよ」

と聞かされ笑顔で
応待したものの、こ
れは、アライグマと



エアロビクス?! 得意のポーズです

ちがうと、すぐ分った。さりとてどう説明してよいか。何時も図鑑を持参するのだがアライグマだとの連絡について手ぶらで来たことが悔やまれてならなかった。

※眼が大きいことはとにかく夜行性である。

※尾が手のように握力があって、木登りが得意である。

※手と足に大きな鉤爪を持ち、ベタ足である。(ここがアライグマ科の特徴)

※ものを両手に持ち食べる。それに可愛いアライグマ坐り(バンダ坐りに似る)をする。

※アライグマとのちがいは長い舌。鉛筆位細く、七〜八センチもあるのは、やはり蜂蜜を食べるのに適している。

だからといって、蜂が襲ってこないとはいえない。そう思っこのキンカジュウを仔細に見て謎が解けた。そ

れこそ蜂の針も通さない位、毛が密生して、まさにビロード状だ。その上夜行性、蜂はどちらかといえば昼行性、キンカジュウに寝こみを襲われたらどうにもならないにちがいない。いや、それにしても、長い舌で、ほんまにワインやウイスキー、ビールもペロペロと、差しだしたピンをぎゅうと抱きかかえて飲むのには驚いてしまった。

「顔に似ずライバルに牙をむく」

必ずしも集団飼育は不適とはいえないが、やはり男っぽいオス同士はメスのことで争う。いま、この人なつっこい「プリンちゃん」もオス。ライバルの「ゴン太」とメスのことで激しく咬みあい、顔中傷だらけ、お客さまに見て頂ける姿でなかったため、隔離飼育中だ。

そこで、なんでも一品多く与えては特別待遇。時折り抱き、散歩に連れだすうち、なおさら人馴れして、もはや仲間の元へ戻れなくなってしまった。

展示飼育室は前述のように昼夜が反転している。隔離の「プリン君」は室外だから正常の昼と夜の生活である。その同じキンカジュウ属も、照明の時差にはつきりと生活リズムがちがっている。やはり展示室の個体と室外の個体とは、全く反対の生活リズムなのである。

「寝こみを襲われる気弱なオス」

だから午前九時の朝食の時、展示室は夜になっているので、みんな元気に動き回っている。だが室外に隔離飼育の「プリン君」は今からお休みの時刻。

そこへ、掃除作業中の扉のすき間から抜け出たボスの「ゴン太」、えらい勢いで走り出たと思ったら一目散に隔離オリの「プリン君」めがけて激しく襲いかかるのである。

「ギャギャ……」またまた時の氏神よろしく「ゴン太」の尻尾を持ってぶらさげ飼育舎に戻してやったら、「クルクルクル……」と可愛いげな声で部屋の中と外とでかけあっていた。

KOBE
CONVENTION
SPOT

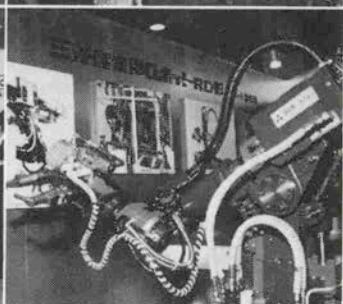
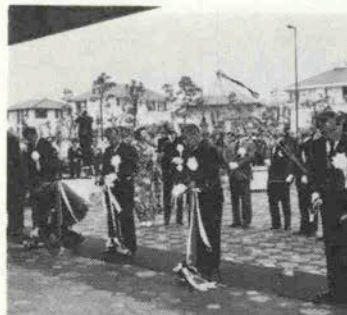
●コンベンション都市・神戸の最新情報

ポートマック'83
インポートフェア
次々と開催される

★神戸で初の神戸ポートマック'83

3月17日～20日「21世紀を拓く
先端技術」をテーマに、神戸国際
展示場で「ポートアイランド機械
・機器見本市」神戸ポートマック

「83」が開催。県下企業はもとより
全国の関連企業約90社が①自動化
・省力化機械②海洋・船用機器③
OA機器④省エネ機器の各コーナ
ーに、最新の機械・機器を出品・
展示。関係者だけでなく、一般市



「21世紀を拓く先端技術」をテーマに開かれた「神戸ポートマック'83」（神戸国際展示場で）
上右／開会の挨拶をする外島健吉協議会会長 上左／テープカットされ見本市が始まる 下
右／話題の産業用ロボット 下左／人気集中のOA機器

民も多数訪れ、OA機器や産業ロ
ボットなど人気を呼んだ。先端技
術」時代にふさわしい催しだけに
これからの展開に期待したい。

★タイ国展の次はウルグアイ展

タイ国との貿易促進を図る目的
で2月23日～3月28日「タイ国展」
が、貿易促進センターで開催され
た。家具、絹織物など多彩な展示
のほか、ビデオやパネルで産業や
文化が紹介され話題をよんだ。

昭和58年度も4つの発展途上国
展が計画されており、まず5月12
日から2カ月間、同会場で「ウル
グアイ展」が開催される予定。

★大好評だった国際輸入見本市

「世界の熱いところ」をテーマに
2月25日～28日神戸国際展示場で
神戸国際輸入見本市が開かれた。
外国の出展者数は13カ国164社
と史上最高を数え、また4日間の
入場者数も昨年に比べて約千人増
の4万9千人と、大好評であっ
た。引合件数も昨年より千件増の
4千2百件、取引金額も2億4千
5百万円とすべて過去最高。予想
以上の好評さに「来年は参加国を
20カ国まで増やしたい」（市経済局
貿易観光課山下進係長）と次回へ
の夢は広がる。国際都市神戸なら
ではのユニークな見本市、今後が
楽しみだ。

青春ing。若者達のにぎやかパーティ！



三菱電気(株)制御製作所

岩切 英晴さん
萩 浩美さん
上田 順子さん
尾西由美子さん
鍛冶 祐子さん
松比良一也さん
住本 幸恵さん
宮本 美香さん

職場の人気者、松比良さんが転勤するので、同僚が集まって送別のパーティを。「クリスマスのパーティも壁の穴で開いたんですよ」「店のスタッフがユーモアたっぷりで楽しい」「親しみやすい雰囲気がいい」「何ととっても美味しい」と、皆さんは『壁の穴』がお気に入り。メニューはホワイトソースに多数決で決定した。「ひょうきんな彼がいなくなって淋しくなります」「新しい職場でも頑張ってください」と別れを惜しみ、旅立ちを励ます一同。

青春というキャンパスに彼らがどんな絵を描くのか、楽しみだ。

東京・渋谷 スパゲティ専門店

Spaghetti

壁の穴

三宮店 中央区三宮町1-5 サンロイヤル神戸10F (さんプラザ) TEL 078-322-4551 営業時間11AM-9PM 第1・3月曜休

● 小山乃里子ノちゃんの

華麗なる食べある記

△105△ 欧風料理 伊藤ゲリル

△106△ 広東料理 民生

★創業60年、欧風料理の老舗

伊藤ゲリルの階段に、蘭の鉢植えが並んでいた。店に入ったら、海側の窓ぎわに、大きなレリーフが飾られていた。

なんと、大正十二年創業、というから開店から、もう六十年、明日とあさってパーティをなさる、という。その前日にうかがったわけである。

「欧風料理」と看板にはあるが、洋食屋と言われるのが好きだとおっしゃる、二代目、忠さん。

毎朝五時半ごろには起きて、市場に材料を見に行き、その日の定食のこんだてが決まるのだそうだが、ついつい買いすぎて、(つまり、これでこんな料理を作ったら、とか、この魚はこうして、なんて考えるのが大好きなそうで...)時々、店の人から、またやノと言われるそうなのこは、定食を中心のメニューである。

私がいただいたのは、夕食というかディナーの定食。まずは、生ほたてのエスカルゴ・バター焼き。

にんにくとエシャロットをよくいため、白ワインを入れて煮つめる。そこへやわらかくしたバターを合わせ、帆立て貝を入れる。貝から出た煮汁とバターがとけ合っ

細かく切った。パセリの香りも加わって、大きな貝がらの上で、早くお食べよ、ごたくを並べずさ、と言ってるようで、では、いただきます。うーん、おいしいよ、これ。もう一切れ、おかわりだめかしら。

言おうとしたら、ポタージュスープが運ばれて来た。まろやかな口当り。ほんの三口か四口でなくなった。さて、メインディッシュ、今日は、鴨のもも肉の煮込み。ソースは、ネギ風味のソース、とても書いとって下さい、と、のんきな御主人。

人参の甘さ、ポテトは、薄くスライスしたものをカリッと焼き上げて積み重ねられて、芽キャベツがちよこんと2つ。合鴨は、よく油がのっていて、表面の焼け具合と、肉の適当なやわらかさが、歯にしこっと当って消えていく。

グリーンサラダと、パンが一応のメニューである。

「あつそうだ、あのね、イタリアのリキユール飲んでみますか、これは、恋をささやく時に飲むお酒なんです。」「デザートね、フレッシュいちごのクレープ、作ってるんです。ブランドーとラムにいちごをつけて、どうですか、お味の方、おいしいでしょう...」

「みやすとあらがわ、航空工業の同期生でね、時々飲みに行つては、肉のハナシを聞いて、こっちは魚のハナシ





▲写真上右/ホタテ貝のエスカルゴ風味、上左/グリーンサラダ 下右/鴨の煮込み 下左/伊勢エビの冷製(マヨネーズソース)
「毎日市場で材料を見て、その日の定食の献立を決めるんですよ」と伊藤忠さん



夕方、店の昼休みの終わった五時には、このテーブルがもう半分近く埋められて、六時ともなると、もう満席というの、これ又、いかにこの店の店の人気が高いかをあらわしているようで、二度びっくり、いや、驚いちゃいけないんだ、これは当り前のことなのです。

とりあえず、あまり長居は出来ないの、食事にとりかかるといって、四日間中華料理ばかり食べていた。いささか食傷気味だったのに、伊勢エビの煮つけの色といい、中に盛られているものを見たら、もう箸を伸ばしていた。エビの身、そしてグリーンアスパラとしめじが、真

するんですよ。」旅行のハナシ、進駐軍のハナシ、本当に色々伺った。伊藤グリル、六十年の魅力は、先代、二代目の人柄におうことが多いように見うけられた。ちなみに三代目は、この秋フランスに修業に出発する。

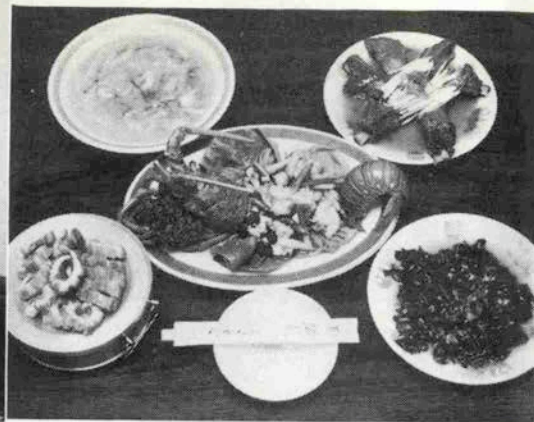
Bコース(オードブル、スープ、アントレハ日替りサラダ、パン、デザート、コーヒー)/2500円 Cコース(オードブル、スープ、鴨の煮込み、サラダ、パン、デザート、コーヒー)/3500円 鴨の煮込みコース(オードブル、スープ、鴨の煮込み、サラダ、パン、デザート、コーヒー)/3000円 コーイルサンジャック(貝柱と小海老のグラタン)/1700円 ビーフシチューアラモード/1900円

神戸市中央区元町通1丁目6-6 ☎331-2818 午前11時半~午後9時 ランチタイムは午後2時まで 毎水曜休

★美味しくてボリュームたっぷり、南京町で35年

民生、といえば、元町中華街の代名詞みたいな店である。昭和二十三年から、というから、もう三十五年。昨年の十月、前の店からほんの少し東に、新しい、大きな店が誕生した。ほんまにピカピカの感じである。前の店のことを、古いとかせまい、とか言ってた連中が、新しいワインカラーの椅子に坐って、店を見まわしながら、「前の店も、仲々おもむきのあるえ感じでしたなあ。」なんて言っている。人間って勝手なものです。

しかし、大きな丸テーブルが、えーっと、一つ、二つ、三つ、四人がけのテーブルが、全部で七十人の座席という、やはりびっくりしてしまう。



▲写真上右/アバラのしょうゆだき 上左/黄ニラのスープ 中央/伊勢エビの煮付け 下右/ワカメのミンチいため 下左/いかの巻き揚げ
「メニューは多種多品目。旬の材料を中華風にアレンジして安価で提供するのがモットーです」と呉信就さん

赤なエビのからの中からのぞいている、季節に合った野菜をつかわれるそうだが、アスパラもしめじも実においしい。

黄ニラのスープ。にんにくを少ししかした味つけだがしいたけとニラがびったり合って、つつい三杯食べてしまった。

以前から、民生のいかの巻き揚げでビールを飲むと、何杯でも飲める、と聞いていた、ここの名物料理いかに巻き揚げ。

いかに切れ目を入れて、かたくり粉をさつとからませて揚げただけ、と呉さん軽くおっしゃるが、ほんとに、あつあつを口にほおばると、香ばしい表面とさくつと歯に当るいかがおしくて、辛子をつけるのも忘れるほど。

ワカメのミンチいため。最近メニューに入ったそうだがこれがまたいけます。これも、もどしたワカメとミンチをさつと油でいためただけです、と言われてしまったが、家でこんな味出まっかいな。なんぞ秘訣があるにちがいない。しかし聞き出した所で、家でやってみる女ではないから、ひたすら食べている。

あばらのしょうゆ煮き、まあ、十センチはありそうなバラ肉、ぼつと肉付きもよく、両手でつかんでむしゃぶりついた。しっかり骨にしがみついている感じなのに、舌でもはずれる程のやわらかさで、これ又みるみる二本三本と、骨だけになってしまった。

ずい分イメージの悪い時期もあった中華街で、ひたすらがんばって来られた、民生の味、さすが、である。

アバラのしょうゆだき/1400円 黄ニラのスープ/1000円 伊勢エビの煮付け/時価 ワカメのミンチいため/850円 いかの巻き揚げ/850円 五目焼きそば/650円 レタス包み/1700円 五目汁/そば/600円 五目やきめし/600円 酢ブタ/850円 エビ天/850円

神戸市中央区元町通1丁目3-3 電話331-5435 午前11時〜午後3時 午後5時〜7時半 月曜休



榎谷 友子



草笛 雅子



暎 くらら



高汐 巴



麻実 れい

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★
いんたびゅう
★★★★★

タカラジェンヌは 北野町がお好き

——本日はラジオの特別公開番組（ラジオ大阪「オーマイアイドル」）出演のため、神戸にいられているわけですが、皆さんの出身地や神戸の感想などを少しお聞かせ下さい。

麻実 東京は神田・お茶の水生まれの、チャキチャキの江戸っ子なんです。祭が大好きで、そろいのハッピー姿で男神輿をかつぐんです。でも神田のお祭りは5月なのでどうしてもお仕事が重なって、このところずっとご無沙汰です。とっても残念……。

神戸は、お仕事でくることはめったにありませんが、ショッピングではよく来ますね。

暎 私は横浜です。よく横浜と神戸と比べてどうですかと尋ねられますが、私は両者が全く違うようにみえますね。神戸の町が好きで、特に北野町が大好きです。お買物にもよくやってくるんですよ。

高汐 そうは見えないらしいんですが（笑）京都の出身なんです。神戸は異人館のある北野町界隈が大好きです。あのエキゾチックな雰囲気はたまらないですね。

草笛 私は神戸っ子ですから、ショッピングも神戸でしか、しません。実は神戸しか知らないんですよ（笑）。

——これまで色々な役をされていますが、お好きな役とか印象深い舞台とかについて伺いたいのですが……。
麻実 みんな好きになっちゃって、甲乙つけがたいのよね。また好きにならないと何もできませんね。強いてあ

げれば『ベルサイユのばら』でしようか。

遥 いろいろな素敵な方と浮気ができていいわね(笑)
などよく言われますが、本当に幸せだなあと思っています。
舞台で素晴らしい人と巡り会うので、オフが心配です(笑)。一つの作品を選び出すのは難しいですが、やはり『風と共に去りぬ』のスカレット役が思い出深いですね。

高汐 組替えて2年間花組にいましたが、すごく勉強になりました。『恋天狗』や、花組最後の作品『夜明けの序曲』などは、最近では特に印象に残っています。
草笛 大階段でソロをするまで宝塚をやめないと決めていましたので、『さすらいのレクイエム』でその約束を果たせて大変嬉しかったですね。また星組の『暁のロンバルディア』のアンヌ役も、初めての女性役という意味で忘れることができません。

穂谷 まだ役らしい役をやっていませんので(笑)……。歌も、アーアーばかりなので、歌詞のある歌をうたいたいです(笑)。序々に先輩方のようになりたいと思っています。

——これからやりたいことや、希望、「好きな人」などについてお話し下さい。

麻実 器用な方ではないので時間がかかるんですが、最近やっと、舞台に足がついてきたという感じがしています。これからいろいろなことをやってみたいと思います。宝塚はなんでもできないといけない所ですが、特に歌に興味を持っています。もう少し勉強したいなあと思っています。なかでもシャンソンが好きで、古いもの、新しいもの

オー・マイ・アイドル
St. Valentine's Day Special
ゴジオ大坂 公開録音



の中で自分にあつたものを捜しています。

他人の舞台や映画は、勉強になりますので、時間の許す限り見るよう心掛けていますが、最近、歌舞伎にとっても関心があるんです。特に片岡孝夫さん。あのように上背があり、細い体の方がどのように着こなすかなど大変勉強になりますので、できるだけ見学するようにしています。

私自身大変忙しくて、なかなかいい男性とのめぐり逢いがありませんが、人との出逢いは大切にしたいと思っていますね。

遥 歌も踊もすべてできないといけないので、ひとつひとつ「やらねばならぬ」という気持で、取り組んでいきたいですね。私も勉強という意味で、玉三郎さんに大変関心をもっています。その他では奈良岡朋子さんやイングリッド・バーグマンさんが大好きですね。

高汐 下級生の頃、ボーとして勉強しなかつたので、現在役づくりの時など苦労しています(笑)。

遅時きながら勉強しています。歌も踊りも得意じゃないけど、みんな好きなんですよね。楽しいし……。苦手なものもある程度やらないし、得意なものは伸ばさないとけないし、焦らずに一步一步やって行きたいと思います。

草笛 私は不器用で……。特にダンスが苦手で……。現在は無我夢中の状況ですので、もっともつと勉強したいと思っています。苦手なものはお一層頑張つて、早く上手になりたいですね。

穂谷 私は今、研3で、すべてがこれからです。ぜひ、お芝居をやりたいです！

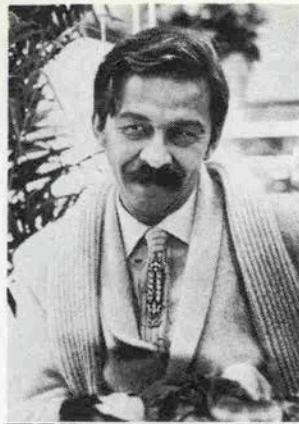
——お忙しいところをありがとうございます。今後の一層のご活躍をお祈りします。

(神戸風月堂ホールにて)

フアンタスティックな 色の魔術師ボルボネーゼ

初来日のウンベルト・ボルボネーゼを訪ねて

九十年の歴史と伝統を誇る帝国ホテル隣に完成したインペリアルタワー。その一・四階に三月十三日、世界各国の有名ブランドが六十四店舗揃ったインペリアル・プラザがオープンした。シャネル、ジバンシィ、ニナリッチ、ランバン、カルティエ等、一階から四階までウインドウを見て歩くだけでも溜息がでそうな豪華さだ。神戸からもアオイ櫛がアイグナー、フェンディ、フェラガモ、ボッテガ・ベネタの四店舗、田崎真珠、大村商事隣のボルボネーゼが出店している。ボルボネーゼは嵯峨田商店が輸入元で日本でもバッグや靴が人気を呼んでいるが、今回、インペリアルプラザ出店を記念して、イタリア・トリノに住むウンベルト・ボルボネーゼ氏が初来日。ボルボネーゼブランドのトータルブティック、神戸元町の「ボルボ」オーナー大村宏子さんにインタビューしていただいた。



ダンディなボルボネーゼ氏

大村「カラーでないのがとても残念なほど、素晴らしいコーディネートですね。淡いブルーのカーディガンとマフラーが素敵です。ブルーの細いストライプが入ったピンクのシャツに銀糸を織り込んだピンクのニットタイ、アクセントのブローチも見事です」

ボルボネーゼ（以下Bで略）「マフラーとカーディガンは私のメンズ用の作品です。カシミア入りなので軽くて暖かいですよ。ブローチはアンティークです。昨年のクリスマスパーティー用に買ったものです」

大村「ボルボネーゼさんのデザインされるアクセサリはフアンタスティックですね。とても好評なんです」
B「私はもともとアクセサリとイヴニング用のバッグのデザインから始めました。」

母は帽子のデザイナーでしたし、母方の祖母は乗馬ウェアを作っていましたね。その側で育ったので、芸術家の息子です（笑）最初はフラ

ンスのデザインに感化され、その後イタリアのデザインを学びました。私は数字には滅法弱いんですよ（笑）自然の樹の葉や、建築用のクレン車を見ている、デザインのイメージが湧くんですよ」

大村「初来日でいらっしゃい

ますが、どのような印象を受けられましたか」

B「一週間の滞在で、東京から大阪、京都、神戸へと行きました。日本に対する認識が非常に少なかったもので許して頂きたいのですが、大変な歓待を受けて、感激的な印象を持っています。特に日本の科学技術と組織力には驚きました。けれども人間的な感情を保持しているのは素晴らしいですね。天然素材である木で造られた京都のお寺は、私としても息がしやすいです。日本の伝統というものについて、信頼ができます。西洋のものも間違いなく、日本の市場に紹介してくれると確信が持てました。私も地中海民族なので、日本の詩情を間違わずに伝えられると思います。イタリア人はアイデンティティを失わずに文明を発展させることができました。子孫にうまく伝えてきたんですね。日本もよく似ていると期待できます」

大村「この旅行でたくさんさんのイメージが生まれそうですか」

B「告白させていただきますと、この仕事をして四十一年になります。だから社会が要求するものや、ファッションのサイクルが自然にわかるのです。それを自ら確認している感じですね。経済危機の時は、ヴィヴィッドな気を紛らわす色が流行り、順調な時は落ち着いた色がいい



(東京のインベリアルプラザで)

ようです。日本の黒い瓦と白い壁のモノトーンの家屋はとても気に入りました。京都ではお坊さんの袈裟を買ったほどです。次は頭を剃らないといけませんね(笑)

また、近いうちに日本へ来たいと思っていますが、たくさんデザインが浮かんでいますよ。大村さんはボルボネーゼのアイディアのスピリットがよくわかってくださっているのです、これからも良い協力者になって頂けるでしょう。このお店も日本の市場に適しています」

大村「ブティックはどんなところにあるのですか」

B「北・南アメリカ、オーストリア、ドイツ、フランスにあります。直営店としてはトリノの二店、他にスペイン、モンテカルロ、サルジニア島等ですね。私には数名の協力者がいて、ユーモアと楽しい雰囲気の仕事をしています。現在トータルの商品化を考えていますが、例えばメガネや紳士用の肌着類、ランプや額等の家庭用品も加わるかもしれません。家具をデザインするかもしれませんし、イメージが湧いたもの……ですね。私のバッグや靴を扱っているレッド・ウオール社は、以前から日本に入っていたようですが、私の会社自身とは、まだ昨年ぐらいのお付き合いですね」

大村「ボルボネーゼさんにはお嬢さんがいらっしやるそうですね」

B「二十四歳と二十二歳と二人おります。イタリアでは結婚することが、それほど重要だとは考えられていないので、孫の顔を見るといこうことは難しいですよ(笑)」

大村「ご趣味はどんなことですか」

B「宝石や、金、銀製品のコレクションです。錫と銀の合製の食器も集めています。エジプトの十八世紀頃のものから持っていますよ。音楽も好きです。ヨーロッパの室内楽は、リラックスできるのでいいですよ」

大村「最後に好きな女性のタイプを聞かせてください」

B「インテリジェンスと美しさを備えた女性です。小柄で優しい人がいいですね。だから日本の女性は大変好きですと言わせて頂いたらよろしいでしょうか(笑)」

● THE ARIMA SPA ●
IN MAY

湯の街

有馬歳時記

★今年には内部充実の年に

増田晴信有馬温泉観光協会青年部リーダーに聞く

— 今月は、有馬温泉観光協会青年部リーダーの増田晴信さんをお訪ねしました。増田さんは第三代のリーダーですが、今年から任期が一年になったそうですね。

増田 ええ、そうです。四月から翌年三月までの一年間です。

— 単年制になったのはどうしてですか。増田 青年部のメンバーは現在約40名ですが、将来リーダーシップがとれるように出来るだけ多くの人にリーダーを経験して貰おうということですね。

— 青年部は二十歳から四十歳までの若い人で構成されていますが、これまでからも夏のカーニバル、秋の「温泉大学」と面白いイベントをやっていますね。

増田 今年には11の事業計画を立てています。大きいのは神戸市がやる「ハローキヤンペーン」期間中の七月にやる「アリマのカーニバル」と、秋の「温泉大学」。温泉大学は、昨年は女性篇をやりました

が今年は男性篇。若い人に温泉のよさを認識していただくためには格好のイベントだと思っています。

— カーニバルは四回目ですね。

増田 そうですね。将来的には「商品」として売れるようなカーニバルにしたいです。今年はカーニバルの前後に朝市などのイベントをもって来て、カーニバルと八月の納涼盆踊り大会を夏場のピークにもって行こうと思っています。

— その他にはどういうことを考えておられますか。

増田 五月と九月には「クリン有馬推進運動町民大会」。有馬を綺麗にして、観光客にも地元の人にも喜んでいただくように考えています。また、セミナーの開講や他業種・他地域との懇談会も積極的に行う必要がありますね。

— それは他の温泉地との交流ということですか。

増田 もち論、それもあります。たとえば青年部研修として草津温泉へ行く企画もあります。しかしより大切なのは異業種の人との交流ですね。有馬の発展のためには宿泊に來られる一般の方の声を聞くことが大切です。様々な仕事をもっておられる方から話を聞くことは、自己啓発のために、さらに将来の町づくりへのヒントを得るために必要だと思います。

— お話を伺っていますと、内部充実ということを考えられているようですね。

増田 そうとも言えますね。私はこの一年を将来のための布石の年としたいと考えています。われわれ一人ひとりが、有

自然の恵みを
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

古泉閣

TEL (078) 904-0731

旅は出会い
ほのぼの心を添えて

政府登録(登録第78号)

●月光園

神戸市北区有馬町318
TEL (078) 904-0366

有馬の歴史を語り続ける「いで湯の宿」

銀水荘

別館 楽山

TEL (078) 904-0622

別館 光楽

TEL (078) 904-3656

欽山は典雅な
日本風の館です

国際観光旅館



TEL (078) 904-0701代



「温泉大学」授業中

馬の将来は自分たちが背負っているのだという感慨をもつ、そのきっかけの年が今年なのだと考えています。

——その意味では、今年は地味な活動の一年になりそうですね。

増田 たとえばわれわれにこの先五年間の展望があるかという、ないわけですね。事業計画の一つに、長期・短期のニューイベント企画を立てていますが、今必要なのは、長期的な見通しでしょうね。



新リーダーの増田さん

——最近宿泊客の好みも変わって来ているようですね。

増田 昨年の夏休み期間に宿泊客を対象にアンケートをとったのですが、アウトドア施設の要望が多かったですね。私は常々「遊びは超現代、建物は超古風」と言っているのですが(笑)、たとえばテニスコートやアーチェリーなども必要でしょうね。

——有馬は自然も豊かですね。

増田 自然は財産です。ただ有馬には遊歩道がない。細い小路にもクルマが入り込んでいます。クルマの心配をしないで歩けるような道が欲しいですね。あたご山公園にジョギングコースをつくるのも面白いかもしれませんね。「自然のなかでの現代的な遊び」をつくって行きたいですね。とにかく有馬の自然を大切にすることです。有馬に来れば市街地の喧騒から離れた別世界の雰囲気味わえるということが大切ですね。

われわれ青年部はまだまだものを知らない人間の集まりなので、とにかくもっと勉強をしないとけないと思います。

敷地内から湧きでる
日本最古の温泉「有馬温泉」

阪急ホテルチェーン
有馬ビューホテル

TEL (078) 904-2295(代)

温泉と演芸と遊技場
有馬ヘルスセンター
TEL (078) 904-2291

雅ただようくつろぎの館

中の坊瑞苑

TEL (078) 904-0781

会議セミナーから御家族づれまで

有馬グランドホテル

TEL (078) 904-0181

結婚式場を完備しています

✿ 伝統と格式を誇る
兵衛

向陽閣

景勝高台の近代旅館

TEL (078) 904-0501(代)

テニスでいい汗
いい湯にとっぷり
味に集う

Sunny Side up
サニーサイドアップ テニスクラブ

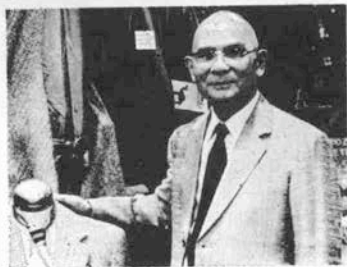
TEL (078) 903-1024

木造りの宿

御所坊

TEL (078) 904-0551

ハイセンスな紳士服で
最高のおしゃれを



三恵洋服店

神戸・元町4丁目 ☎(078) 341-7290

はハイグレードなヨーロッパファッションの源泉。



現代的で無駄のない機能美を合わせ
持ったエレガンス独自の美の世界

神戸眼鏡院

元町店・元町3丁目 ☎(321) 1212代表
三宮店・さんちかタウン ☎(391) 1874~5

耳のよきパートナー

補聴器オーディオルーム

専門コンサルタント担当

- 防音室で聴力測定・補聴器微調整
- 耳穴にフィットする耳栓型取り

※補聴器は元町店で取り扱っています。

★神戸の集いから

★雄祭りに華麗な人間雑

ひな祭りの3月3日、生田神社会館で大人のためのひな祭りが催され、集まった約300人の観衆を大いに沸かせた。発起人は望月美佐さん、福田義文同神社宮司、小池義人須磨寺管長の3人。この催事で衆目を集めた



美男美女、のおひな様

のは壇上に並んだ人間のお姫様。殿には元皇族の賀陽邦寿さん、姫には望月さんが扮装、右随身を彫刻家の新

谷瑛紀氏が演じれば、夫人のバトリシアさんが五人官女役になるなど「美男美女」が勢揃いした。この後、民族舞踊、望月さんの作品のチャリティオークションで雄祭りの幕を閉じた。

★神戸日本ブータン友好協会が総会を開催

ヒマラヤにあるブータン国との友好に役かっている神戸日本ブータン友好協会は、3月19日、神戸交通セ



ブータン友好の乾杯へと層の友好を強調、続いて寺本滉事務局長が57年度の事業内容と収支

結果を報告した。

またブータンから来神したチミ・ドルジ氏(24)、ジグミー・リッチェン氏(25)ランテンノルブ氏(24)ら3人が拍手とともに紹介された。パーティ料理にもブータン食が出され、ブータン一色の集まりであった。

★赤尾兜子を偲ぶ会

遺稿集出版も兼ね盛大に3月21日、ニューポートホテル桔梗の間に、神戸の俳人、赤尾兜子の3周忌を偲ぶ会が催され、句誌「渦」の同人や文化人約100名が集った。

当日は、独自の句境を歩んだ故人を偲ぶ人々によって、生前の数々のエピソードが、次々と述べられ、同

時に、死後に発見された最後の句集「颯(はて)」の



赤尾夫人を囲んで、右は須田さん

出版記念を祝った。装幀を担当した須田太さんは、

「赤尾さんの作品は、社会においてなくてはならない一つの存在実体。すばらしい句業を改めて銘記すべきだ」と称讃の辞を述べた。

★「いろまち燃えた」の君本昌久氏を囲むつどい神戸空襲で焼死した福原の女郎たちの事実を綴った

♥小泉パーティご案内

小泉パーティは

結婚を希望する男女にお見合や愛好会によって健全なご交際のお手伝いをいたします。身元の確かなことは良縁の第一条件です。身元の確かな方々の会員制の集いです。

・入会金 10,000円・年会費 10,000円

神戸マリッジへ(無料)

楽しいご婚礼のお買物をご予算に応じてプランニングし、神戸の一流の専門店をご紹介します。

《協賛店》

家具の江戸屋・宝石のタジマ・ふとんのつゆき紳士服のニッケショールーム・和装のみよしや旅行の日本旅行・他各種の専門店

小泉パーティのご案内・入会書類ご希望の方は事務局 〒650 中央区江戸町100 高砂ビル510 コミュニティサービス内書392-0200 小泉正巳

多田智満子、武田芳一氏ら作家仲間祝辞が続いた。



君本さんを囲んで

君本昌久さんの「いろまち燃えた」(12000円)が三省堂から出版された。これを記念する集いが3月26日、楠公会館でもたれた。集いは二部に分かれ、一部はコラスと、'83ブルーメール賞受賞の藤田佳代舞踊団の創作バレエ「骨の踊り」が披露された。遊女たちの苦しみを、骨の音に象徴した踊りが、痛切を表現し会場の感銘を呼んだ。二部のパーティでは足立巻一